

令和5年度 新宿区立落合第六小学校 みらい科全体計画

**【児童の実態】**  
 ・家庭からの愛情を十分に受け、明るく素直な児童が多い。  
 ・学習課題に対して創意工夫をしながら、解決までの手順や方法を考え取組むことを好む。  
 ・人間関係にナイーブな面を示す児童が多い。

**【学校の特性】**  
 ・一昨年より未来につながる学力の育成を目指し、文部科学省教育課題特例校として「みらい科」を創設した。  
 ・高学年がリードする縦割りでの学習や活動が多い。  
 ・地域や保護者の学校参画への意識が高く、協力的である。  
 ・企業連携など先進的な取組を多数行っている。

**【学校の教育目標】**  
 人間尊重の精神に基づき、日本人としての自覚を高め、広く国際社会に貢献できる感性豊かな主体的に行動できる人間の育成をめざし、次の目標を設定する。  
 ○明るい子（感性豊かな心の育成）  
 ・温かい心でみんなに親切にする。  
 ・誰とでも協力し、進んで仕事をする。  
 ○考える子（思考力・創造力の育成）  
 ・進んで問題に取り組み、工夫して解決する。  
 ・自分の行いをよく反省し、改めようとする。  
 ○たくましい子（生命の尊重・心身の鍛錬）  
 ・進んで、じょうぶな体に鍛える。  
 ・最善をつくし、ねばり強く実行する。

**【保護者の願い】**  
 ・経験や情報に関連づけて、試行錯誤をしながら、新しい解決案を提案する力をつけてほしい。  
 ・社会や自然の課題と向き合い、新たな価値を創造しようとする意欲をもってほしい。

**【教師の願い】**  
 ・自律して学ぶ子どもに育てたい。  
 ・自分で夢中になれる課題を見付け、そこから問いを見出し、自ら学び続ける子どもに育てたい。  
 ・様々な方法で自分のことを表現できるようにしたい。



【みらい科の目標】		
探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「人・もの・こと」を生かした横断的・総合的な学習を行うことを通して、友達や地域の人とともによりよく課題を解決し、自己の生き方を見つめ、未来を考えていくことのできる児童を育成する。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・協力的に学びを進めることができる。	・課題を解決するために、自ら考え判断し、表現することができる。	・見通しをもって活動したり、修正しながら解決を目指したりすることができる。 ・地域社会とのつながりに気づき、地域社会の一員として進んで地域の人と関わるることができる。

各学年の探究課題と育成することを旨とする主な資質・能力

	探究課題	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
低学年	「よりよい未来を創造しよう」 (おちろく DASH)  「おちろくの秋をみつけよう」 (1年)  「あつまれ！わたしたちのまち」 (2年)	・友だちの良いところを見つけたり、異なる意見を受け入れたりすることの大切さを理解し、協力して学びを進めることができる。	・友達と関わり合いながら調べたり、観察したりしたことに基づいて自分の考えを選びとることができる。	・身の回りの事柄に目を向け、全体で取り組む課題を知り、教師と一緒に活動の見通しをもちながら活動することができる。 ・自分と地域社会とのつながりに気づき、地域の良さを積極的に見つけようとしている。
中学年	「よりよい未来を創造しよう」 (おちろく DASH)  「食べ物のひみつを教えます」  「これからも続け！落合のすてき」 (3年)  「地域の祭りに灯をともしよう」  「染を未来に伝えよう」(4年)	・考えを伝え合ったり、異なる意見を受け入れたりすることの大切さを理解し、協力して学びを進めることができる。	・身近な他者と関わりながら、目的意識をもって調べたり、根拠をもって表現したりしている。また、様々な表現方法の中から、調べた内容に合わせて、適切な表現方法を選ぶことができる。	・解決すべき課題に目を向け、友達と関わり合いながら活動の見通しをもち、調べた内容に合わせて手段や表現方法を考え、活動を修正しながら課題解決を目指すことができる。 ・自分と地域社会とのつながりに気づき、地域の活動に進んで関わろうとしている。
高学年	「よりよい未来を創造しよう」 (おちろく DASH)  「食に学ぶ①②」(5年)	・他者の考えを受け入れたり、異なる意見を尊重したりしながら活動に取り組み、協力して学びを進めることで、みんなの思いや願いを実現する	・他者と関わりながら、考えたことを視覚的にまとめたり、自他の考えを表したりしながら、活動を俯瞰的にとらえ、新たな発想で提案することができる	・解決すべき課題に目を向け、他者と関わり合いながら進捗状況を確認、目的を達成するための見通しをもって解決可能な方法を考え、実行するこ

	<p>「解体新書をつくろう」</p> <p>「おちろく班遠足を提案しよう」</p> <p>(6年)</p>	<p>ことができる。</p>	<p>る。</p>	<p>とができる。</p> <p>・自分と地域社会とのつながりに気付き、地域の活動に進んで関わり、地域社会の良さを発信しようとしている。また、活動を振り返り、成果や課題に目を向け、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。</p>
--	---	----------------	-----------	---



**指導体制・指導方法**

- ・校内の教員による単元や授業の修正・改善を図る協同体制、年間計画
- ・ねらいを明確にした体験活動
- ・各教科との関連の工夫
- ・児童の主体的な学びを引き出す指導

**地域材の活用**

- ・スクールコーディネーター、地域協働学校との連携を図り、地域の学習材の積極的な活用による体験活動の充実
- ・企業との連携

**学習の評価**

- ・行動観察、作品・制作物・発言・発表、ポートフォリオなどによる評価
- ・個人内評価の重視
- ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画にいかす。

**学習活動・留意点**

- ・年間を通したプロジェクト学習で構成し、十分な時間を確保しながら探究的な学習課程になるようにする。